

◇内 田 清 文 君

○議長（澁谷俊二君） 次に、4番、内田清文君の一般質問を許可いたします。内田清文君、登壇願います。

（4番 内田清文君 登壇）

○4番（内田清文君） こんにちは。通告に基づき、一般質問をいたします。まず、美郷町の達成度について伺います。ことしが美郷町の合併15周年ということで、まずは、町民の皆様はもとより、町長初め職員の皆様のご尽力があって現在の美郷町があるということをしみじみと感じているところです。さて、15年という月日は私の人生の約半分であり、短かったような感じもします。しかし、生まれたばかりの子が中学3年生にもなることを思えば、長く非常に重要な期間であると言えます。美郷町も人間で言えば中学3年生、高校受験の年です。美郷町の初代町長として、これまでの15年間でどう思っているのか。美郷町の達成度に点数をつけるとしたら、100点満点で何点でしょうか。その理由もあわせて伺います。また、もし満点でないとしたら、どのような課題が挙げられるでしょうか。満点にするためには町民の皆様の協力が必要ということもあるかもしれませんが、ここでは、行政側のみの課題を説明いただければと思います。

○議長（澁谷俊二君） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） ただいまのご質問にお答えいたします。この15年間に対する感想とありますが、複雑多岐にわたる課題や状況を一定程度乗り越えたとともに、新たな形をつくりながら今日に至った、そしてそのために町民各位及び町議会、町職員、関係機関、各団体とともに、私も相応の努力を重ねてきたというのが、私の思うところです。また、美郷町の達成度について100点満点のうち何点かということですが、議員ご承知のとおり、美郷町では第2次美郷町総合計画において、現在、平成30年度から令和3年度までの4年間を計画年度とする行動計画後期の期間にあります。達成度を問われれば、現総合計画上の目標値に対する達成度をお答えすることが一般質問の場では適切と存じますが、4年間の計画のうち1年間しか経過していない状況で計画達成度を申し上げるのは、時期尚早と存じます。お答えできないことにご理解をお願いいたします。また、もし議員のご質問が15年間を振り返って、現在の状況について点数化することを求めているのであれば、なおさらお答えできません。なぜならば、感覚的で主観的な達成度の点数化には、客観的な基準及び根拠がないわけですから、議論する対象にならないからです。私は、客観性がなく説明ができない数値を、一般質問の場においてはお答えできないという認識でありますことにご理解をお願いいたします。したがって、満点でない場合の行政側の課題についてのご質問も、

総合計画上の目標値に対する達成度であればお答えするには時期尚早、感覚的主観的達成度であれば、ただいま申し上げた理由からお答えできないことにご理解をお願いいたします。なお、議員がおっしゃる達成度を、客観的な町民満足度で推しはかるとすれば、平成29年度に実施した「美郷のまちづくり町民アンケート」結果が参考になるものと存じます。満足度の高い分野は、上下水道の整備93.7%、乳幼児教育の推進92.3%、行財政運営が同じく92.3%との評価をいただいております。また、満足度の低い分野については、工業の振興84%、生活の安全性の向上85.2%、労働・雇用対策の推進86.7%となっているところです。また、美郷町の住み心地については、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」が93.1%で、平成26年度の前回調査より1.7ポイント増加、定住意向については、「今の場所に住み続けたい」が85.4%で、前回より1.1ポイント増加、町への愛着・誇りについては、「感じる」「少しは感じる」が91.2%で、前回より1.4ポイント減少という結果になっているところです。いずれ、こうした町民満足度が向上することが自治体には大切と存じますので、今後も現総合計画による各種施策を計画的かつ円滑に推進し、町民満足度向上につなげてまいりたいと存じます。以上です。

○議長（澁谷俊二君） 再質問ありますか。（「はい」の声あり）4番、内田清文君の再質問を許可いたします。

○4番（内田清文君） 客観的數字ということですがけれども、私、普段から一般質問のときには、かなり町長の主観、町長が何を考えているかというところを質問しているのでありますので、客観的な數字、例えば総合計画の達成度ということではなくて、総合計画をつくる上で町長はそもそも自分の頭の中にグランドデザインみたいなものがあると思います。そこに関するご自身の達成度、点数化をしていただきたいという質問でしたので、よろしくをお願いします。

○議長（澁谷俊二君） 答弁を求めます。町長、自席でお願いします。

○町長（松田知己君） グランドデザインを点数化すること自体が私には理解できませんので、議員がおっしゃったことに対する点数化ということ自体が、自分の中では点数化できないということです。どういうことが必要かとか、どういう部分が不足しているかということであれば、それは答弁はできますが、点数化ということについては答弁できないということです。ご理解をお願いします。

○議長（澁谷俊二君） 再々質問ありますか。（「ありません」の声あり）次の質問に移ります。

○4番（内田清文君） 続きまして2問目、美郷町を宣伝することについて、さまざまな点から伺います。まず、町長のトップセールスについてですが、町長は出張でさまざまところに赴かれていることと思います。その際に、ご出発やお戻りを変更しての企業誘致や美郷町への誘客など、

トップセールスを行うことはあるのでしょうか。例えば東京出張であれば、目的を終えて帰ってくるだけでなく、それに合わせてトップセールスの予定を入れていくなど、旅費交通費と時間を有効に使うということも考えられると思います。この点について伺います。

○議長（澁谷俊二君） 内田議員、これは3点一緒の質問ではないですか。（「そうですね、済みません」の声あり）

○4番（内田清文君） 失礼しました。次に、美郷町の宣伝方法について伺います。

私は、町民が一丸となって、その一人一人が美郷町の魅力を宣伝することができれば、美郷町の関係人口や交流人口の状況は変わると考えています。そのための手がかりとして、競争力のあつた美郷町独自の魅力はどのようなものがあると考えているか伺います。町長は、美郷町を最もよく考えている人のうちの一人であると思いますので、その観点からの考えをお聞かせください。また、美郷町を誰かに売り込むときに、どのようにしているのか、その方法についてもあわせて伺います。最後に、美郷町のホームページについて伺います。このたび、ホームページが新しくなつたことで、以前より行政色が薄くなり、視覚的に興味を引くようになったことは大変すばらしいことだと思つております。そのホームページを見てみますと、かなり色鮮やかなつくりになっていると思います。例えば、トップの中央に「秋田県美郷町」の記載があり、これは大変にぎやかな配色になっていますが、これはどのような意味が込められたものなのか伺います。また、背景の画像ですが、いつ遊びに行つても楽しめそうなものが六郷湧水群と坂本東嶽邸のみとなっています。季節ものも大切ですが、集客という意味では季節を越えて楽しめるものが一番目につくトップ画面にあると、よりよいと思います。まずは、ホームページへの訪問者は、本当に興味がある人でない限りリンク先へは行かないと考えてホームページを作成したほうがよいのではないのでしょうか。同様に、ツイッターやフェイスブックのリンクが張られています、これは連動するようにしたほうがよいと思います。その画面上にツイッターやフェイスブックの内容が見られるように埋め込んだほうが一見して情報をとることができ、さらに興味があればリンク先を訪問してもらえ、さらに多くの情報をとってもらえることになるのだと思います。ホームページは本当に大切で、それがすぐれていると「この町は観光に力が入っている、行けばもっとわくわくするものがあるかもしれない」と思いますし、そうでないと、町自体に本当に魅力があつたとしても、それが伝わらないと思います。ホームページは予算をかけるべきところだと思いますので、ぜひ思い切つたものにしていただければと思います。加えて、ホームページがより検索されやすくなるSEO対策はどのようにしているのかもあわせて伺います。

○議長（澁谷俊二君） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

(町長 松田知己君 登壇)

○町長（松田知己君） ただいまのご質問にお答えいたします。私の出張に関しまして、1回の出張で複数用務をこなしてくること、つまり「一粒で二度おいしい的」出張をこなすことが、よくあります。例えば、直前の出張であった先々週の東京出張では、初日の目的用務の前の時間に国会議員に事業要望を行い、その後、目的用務をこなし、翌日も目的用務の前に龍角散本社を訪れ、町内産品輸出に係る意見交換などを行った後に目的用務に出務し、それが終わってからまた別の用務として、来年度事業に係る調整を行い、合意を固めてきております。また、翌々日も目的用務の後で、来年度学友館企画展に関して関係者と調整を行い、日程を固めてきており、目的用務以上の用務数をこなしております。このように、限られた滞在時間の中で出張機会と旅費及び時間は有効活用しておりますので、ご認識をお願いいたします。なお、こうした出張の結果、つまり議員がおっしゃるトップセールスの結果ですが、近い過去で言えば、株式会社モンベルとは、モンベルの会長との面会で、包括協定、防災協定の締結や直営店の出店を実現し、ヨネックス株式会社とは、ヨネックスの社長との面会で、ヨネックスのバドミントンチームの町内合宿を実現しているところです。また、先月実施した「縄文の造形美と棟方志功展」でも、東京国立博物館館長を訪問し、東京国立博物館所有の縄文土器の里帰り展示を実現させているほか、昨年「空と飛行機の世界展」も、日本航空の副社長を訪問し、企画への協力を決めていただき、それで実現しているところです。ただし、こうしたトップセールスは、思い立ったような訪問ではなく、事前に先方に面会予約をきちんと入れて訪問しております。それがビジネス上の礼儀ではないかと私は認識しております。したがって、議員ご提案の急遽予定を変更して企業等を訪問することは、ないとは言いませんが、よほどの状況が発生した場合だろうと思います。何より、私は出張から帰った後の公務日程がかなりの割合で詰まっている立場です。したがって、急な予定変更はその後の公務、例えば町内外の行事出席や各種業務調整、事務決裁などに支障を与えることもあり、簡単に予定を変えることが困難であることにご認識をお願いいたします。いずれ、自分としてはかなりトップセールスを行っているつもりですし、一定の成果を残しているつもりですので、旅費と時間を有効に使っていることに、改めてご認識をお願いいたします。

次に、美郷町の宣伝についてですが、町民が一丸となって美郷町の魅力を宣伝すれば、関係人口や交流人口の状況は変わるとの議員のご説明は、そのとおりであると私も思います。その前提にある美郷町ならではの魅力についてですが、幾つか例を挙げますと、美郷雪華、これは美郷町ならではの魅力と存じます。また、松並木・杉並木並びに坂本東嶽邸やわら細工のコレクション、佐々木毅先生の記念室もそうであろうと存じます。また、酒蔵跡を活用した湧太郎施設や六郷湧

水群、六郷のカマクラ行事もそうですし、飛翔館や総合体育館リリオスもそうであろうと私は思います。また、これまでのあまたの交流の中では、伸び伸びとした田園空間が素晴らしいとの多くの評価をいただいております。さらに、誰もが知っている民間企業との連携交流やタイ王国との交流も、美郷町ならではの取り組みですので、いわば語れる地域の魅力がそういう形で多く存在していると、私は認識しております。一方、人は十人十色で、琴線もさまざまでしょうから、何の魅力がその方の琴線に触れるのかは、一概に申し上げられないものと存じます。つまり、美郷町に魅力を感じていただくことについて、「あれ、これ」という固定的な伝達ではなくて、そこにある全て、空気も光も土も景観も、そして人も地域の気風も全てひっきりめて伝えることが、議員おっしゃる競争力のある美郷町ならではの魅力になるものと私は理解しております。したがって、私が目的を持って人と会う際は、美郷町によい印象を持ってもらい、かつ魅力を感じていただくために、さきに申し述べた事柄に加えまして、取り巻く環境や気風、自然環境なども含んで、総合的に、率直かつ誠実に、さらに熱意をもって話をさせていただいております。これが私の生きる道ですので、どうぞご理解ください。

町ホームページについてです。議員ご指摘のとおり、本年11月1日、美郷町合併15周年を機にリニューアルを行いました。申すまでもなく、町ホームページは、町政情報を発信するツールとして重要な役割を担っており、これまでも社会情勢の変化とともにデザイン面や利便性の向上を図るため、一定のサイクルでリニューアルを行っており、今回は約5年ぶりのリニューアルです。

今回のリニューアルに当たっては、利用者のニーズに合わせて2つのコンセプトを掲げて検討をしております。1つ目としては、障害を持っている方や幅広い年代の方にとっても「見やすい」ホームページに仕上げること。2つ目としては、ほかの自治体にはないデザインに仕上げ、「美郷町らしさ」を全面的にアピールし、視覚的に興味を引くような内容にすることです。ご質問の「秋田県美郷町」の配色についてですが、「美郷町らしさ」をアピールするため、「水の郷」をイメージした青色、「豊かな自然」をイメージした緑色を使用しております。また、「明るい未来に向けて、美郷町はこれからも成長していく」というメッセージも込めて、配色のバランスも考慮しながら、「明るさ」をイメージしたダイダイ色、「エネルギーや活力」をイメージした赤色を使用しております。また、背景画像についてですが、今回のリニューアルに当たり、各サイトの玄関口の役割を果たす「ポータルサイト」というものを新たに設置しました。ご質問にある「六郷湧水群」や「坂本東嶽邸」の写真は、このポータルサイトに使用しているものですが、これらと合わせ、「美郷町ラベンダー園」、「六郷のカマクラ」、「美郷総合体育館リリオス」の計5枚の写真を現在使用しています。この5つの写真を選択した理由ですが、当町のホームページにア

クセスした方に対し、まずは美郷町としてアピールしたい資源の写真を見ていただきたいという趣旨で採用したもので、季節にこだわっての選定ではないことにご理解をお願いします。また、季節ごとの写真については、ポータルサイトの次に表示される「行政サイト」内において掲載することとしており、現在は冬の季節をイメージした写真を掲載しております。なお、背景画像や写真については随時変更することが可能なシステムとなっております。今後、アピールしていきたい資源がほかにもたくさんありますので、議員ご指摘の集客という観点も踏まえ、さまざまな意見を参考にしながら適切に運用していきたいと考えております。次に、ツイッターやフェイスブックのリンクについてですが、現在はポータルサイトと行政サイトそれぞれにリンクづけております。議員ご指摘のとおり、ポータルサイトについてはアイコンのみの表示で、アイコンをクリックしないと情報が検索できないような形になっていますが、ポータルサイトの役割が各サイトの玄関口であるということと、背景画像の効果を最大限発揮させたいためですので、当面は現状の形で運用していきたいと考えております。ご理解をお願いします。なお、行政サイトのリンクについては、埋め込み式としており、最新の投稿内容が一見できるようにしております。

最後にSEO、セオ対策についてですが、一般的にセオは「検索エンジン最適化」のことを指し、その対策として、広告枠を除いた部分の検索エンジンでの検索結果において、上位に表示されるような取り組みを指すものとされております。検索結果の表示順を決めるための仕組みとして「検索アルゴリズム」というものがありますが、これは200以上の要素から構成されており、セオ対策をする上では、この検索アルゴリズムに沿って取り組みを進めていく必要があります。その取り組みの一つとして、「ウェブサイトの動きを活発にすること」というものが挙げられるようですので、当町においては、町民あるいは町外の方への情報発信を適切な時期に行うよう努めており、ホームページ内の情報更新など、積極的な運用を日ごろより意識しております。また、セオ対策には「使いやすさ、見やすさ」の取り組みも重要となり、昨年からライセンスを取得して安全なホームページであることの証明を得ているほか、誰もが見やすい内容となるよう、ウェブ・アクセシビリティチェック機能を活用しながら、各コンテンツを作成しているところです。

今後も、より使いやすく、そして親しみの持てるホームページになるよう努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。以上です。

○議長（澁谷俊二君） 再質問ありますか。（「ありません」の声あり）

これで、4番、内田清文君の一般質問を終わります。